

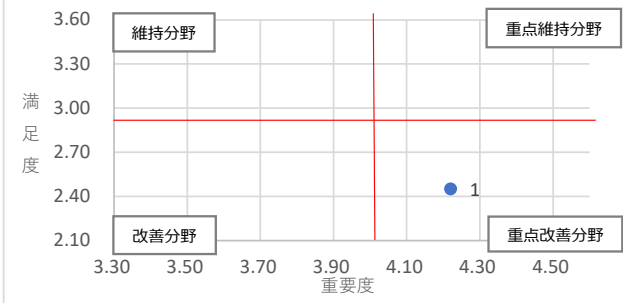
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	サービスプラザ管理運営事業				所管課	戸籍税務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民	目的	役場より遠方な方や閉庁日に諸証明等を取得できるようにして町民の利便性の向上に努める。				
事業概要	住民票、印鑑証明、税証明等の発行や各種行政相談の取次ぎ等を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	03	01	大事業	サービスプラザ管理運営事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	1,807	1,939				
	概算人件費	3,338	3,577				
	トータルコスト	5,145	5,516	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.08 人		387 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	3 人		2,951 千円			
	その他	人		千円			
	合計			3,338 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	利用件数(件/年) (証明書発行+相談等含む)	計画値	2,196	2,150	2,100	2,050	2,000	1,950
		実績値		2,052				
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	公共施設の適正な維持管理・再編	4.22	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	町民サービスプラザは証明書発行や、各種相談について、担当課に連絡して対応するなど、地域の拠点として、町北部の利便に供している。
	課題	ラディアンサービスコーナーはマイナンバーカードの申請・交付等の機能を付加し、利便性を高めた。コンビニ交付やデジタル化により、証明書の発行数が減少していくに従い、段階的に統廃合を進める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

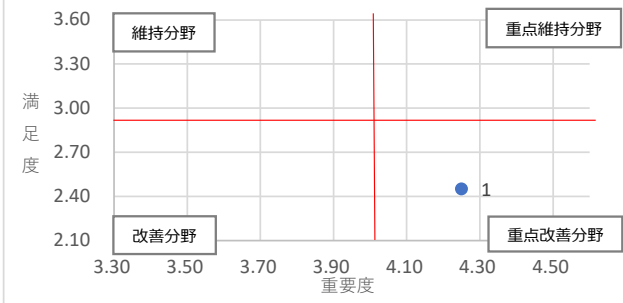
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	徴収事務事業				所管課	戸籍税務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	個人、法人	目的	徴収事務の能力向上を図り、収納の強化に努める。				
事業概要	国税徴収法、地方税法及び二宮町税条例等に基づく町税確保のための徴税手続き及び納税意識向上の啓発を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	02	02	02	大事業	徴収事務事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込		R 7 事業費		R 8 事業費	R 9 事業費
	直接事業費	6,749	10,260					
	概算人件費	7,271	6,334					
トータルコスト		14,020	16,594		0		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 5 概算人件費		正規職員	1.80 人			7,230 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	0.03 人			41 千円		
		その他	人			千円		
		合計			7,271 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	町税の収納率（％）【行革】	計画値	97.94	0.0～0.5上昇	0.0～0.5上昇	0.0～0.5上昇	0.0～0.5上昇	0.0～0.5上昇
		実績値		98.27				
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	預貯金等照会システムの導入による事務効率の向上や、経験豊富な職員による速やかな財産調査、積極的な滞納処分により、一定の成果を上げることができた。
	課題	徴収による成果をあげるためには、確実かつ迅速な事務処理が求められる。そのためには職員が徴収に関する知識やノウハウ（徴収スキル）を身に着けている必要がある。人事異動が伴う中で、徴収経験者の採用や、外部活力を利用した人材育成などによる、「徴収スキル」の継承が課題となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持